

2024 年度 個人研究実績・成果報告書

2025 年 4 月 29 日

所属	商経学部	職名	専任講師	氏 名	小川 亮
研究課題	大学教育における補習クラス設置の効果：回帰不連続デザインによる検証				
研究キーワード	補習クラス、教育効果、 回帰不連続デザイン	当年度計画に対す る達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を 達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連する SDGs項目	4. 質の高い教育をみんなに	該当なし	該当なし	該当なし	
1. 研究成果の概要 千葉商科大学の商経学部には、「アカデミック・リテラシー」という科目が設置されている。当該科目は、入学者の基礎学力の不足を補い、入学後の学修の継続・成績の向上を図るため、2015 年度に新規に設置された科目である。その履修対象者は、毎年度 4 月に学内で実施される「基礎学力テスト」の得点に基づいて判断される。本研究では、この履修の割り当てのメカニズムに着目し、回帰不連続デザインを用いて、大学教育における補習クラス設置の因果効果を検証する。 本年度に検討した点は、以下の通りである。(1) 2020 年度から「アカデミック・リテラシー」の履修が任意となったことを踏まえ、これまで使用していた 2019 年度までのデータを延長し、この変化がいかなる影響を与えたのかを検討した。(2) 近年重視されている大社接続を踏まえ、履修者の学修パフォーマンス（修得単位数や GPA）だけでなく、卒業後の進路や就職状況などの中長期的な視点から補習クラス設置の効果を検討した。(1) については、頑強な分析結果ではないものの、当該科目の履修者に学修成績の向上が確認された。ただし、これは「自己選択バイアス（学修成績を向上させる意欲のある学生が当該科目を履修した）」を反映した結果であると推察され、この効果を当該科目の履修そのものに帰属させるには慎重を要する。(2) については、時間の制約上、十分に検討できておらず、今後の課題として残されたままである。 2. 著書・論文・学会発表等 【論文（査読あり）】 ・該当事項なし 【著書・論文（査読なし）】 ・該当事項なし 【学会発表等】 ・該当事項なし 3. 主な経費 ・分析内容の深化を図るための関連書籍や PC 周辺機器の購入、研究会参加に伴う出張旅費に使用した。 4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等） ・該当事項なし					